

第3回 旧寄中学校利活用検討委員会 議事概要

日時：令和2年2月27日（木）

午後7時より

場所：寄小学校屋内運動場

多目的ホール

1 開会

2 議題

(1) 活動紹介 YHVの活動について

～YHV有志の会から説明～

- 平成30年度に行われた農泊勉強会の参加者により立ち上げた会であり、寄の未来を考えて何か行動を起こす必要があると考え、意見交換等を実施してきた。
- 勉強会では町の獲得した農泊、民泊に係る補助金を活用することを趣旨に集まっていた。
- 月に2～4回ほど集まっている。
- やどりきのくらし体験を試行的に昨年実施した。
- NEAL研修という自然体験活動指導者養成講座に有志の会のメンバーで参加した。
- ロウバイまつりの主催者と連携しまつり会場でもやどりき体験ブースを開設した。
- 後日、宿泊のモニターツアーを実施予定。
- YHVのこれまでの活動に基づき結成した訳ではない。まだ参加者が少ないので、仲間を増やしていきたいと考えている。

以下、委員による質疑。

- 宿泊事業の実績はまだない。農泊の勉強会は町の主催により開催されているものであって、直接的に有志の会として農泊の実施を目的に結成しているものではない。
- 有志の会としての活動ビジョンは明確なものではなく、農泊事業に関わらず地域の方と協議して方向性を探していきたいと考えているところ。
- 寄地域では今一番精力的に活動している団体と考えられる。

(2) 旧寄中学校利活用に関する提言書について

～資料2, 4に基づき事務局から説明～

- 今後のスケジュールとしては、本会議において提言書の取りまとめた後に、令和2年4～6月に事業者サウンディング調査をして条件等の整理、7～9月に事業者公募、10～12月に事業者の決定、令和3年3月ごろに事業開始ができればと考えているが、条例の制定等が必要となった場合には、変動する可能性もあり得ると考えられる。

以下、委員による議論要旨。

- 事業者の募集にあたっては、事業者が手を挙げられるような条件の整理と提言書の内容を踏まえたものにしなければならないので、時間をかけしっかりとサウンディング調査を実施していただきたい。
- 提言書は、事業者の提案を広く受け入れられるような、幅広い書き方が良い。
- 本委員会から数名、事業者の選定委員会に参加していただきたい。
- サウンディング調査の結果で多少提言書の内容から変えることもあると思うが、改めて本委員会に諮ることまでは必要ないと思う。そうでないと、なかなか条件がまとまらないと思うので。
- 事業者の選定委員会は、地域の方も傍聴できるように公開で実施するべき。

～資料3に基づき提言書の素案について事務局から説明～

以下、委員による議論要旨。

- かなり具体的で細かい表現の部分があり、募集要項の作成時に縛りが多くなるような表現は避けるべき。
- 寄地域の文化体験ができる利活用については、期待される利活用として事業者に実施を望むものではなく、町にお願いすべき事項であるので、項目を分けるべきでは。
- 「～であること」という表現は、提言書の書き方として適していないので、「望まれる」などの表現とすべき。
- 意見を踏まえ、副町長、教育長に内容の調整を一任する。修正したものは、改めて皆さまにご提示しご意見を伺うこととし、最終的な提言書としてまとめていく。

3 その他

- 完成した提言書については、委員長から町長へ直接提出する。

4 閉会